

## ユーザ視点と作り手視点でデザインされた携帯

gogo-machead より。

iPhone は「ユーザ視点」で作られた商品で、Nokia N95 は「作り手視点」で作られた商品という点が両社の違いということですね。

日本の携帯はユーザ視点と作り手視点のいずれにも属さないと思います。

携帯に限らないことですが、日本にはもう一つの視点、「営業視点」でものを作っている会社が多数あります。ユーザには便利でなくても、作り手の理想を形にしていなくても、「売ればいい」という視点です。この視点では、市場シェアを確保し、客を囲い込むこと自体が目的になり、流行りの小手先のデザインを加えカタログスペックを向上することが手段となります。そうして、みかけはかわいくて、他社製品とスペック表で比較できる機能を満載し、機能間の連携はまったくできない、マニュアルなしには使えない製品が生みだされます。

当然ながら、ユーザ視点・作り手視点の製品がでまわっている海外では勝負になりません。

そうこうしている間に、iPhone が発売され、世界の携帯のスタンダードは大幅に変わってしまいました。世の中の携帯がみんな iPhone になるとは思いませんが、従来タイプの携帯はビジネス用、一般人は iPhone タイプの「エンターテイメント系」携帯、という住みわけがなされていくと思われます。

過去には iPod が携帯音楽プレーヤーのスタンダードを変えましたが、国内の音楽コンテンツホルダーは未だに iTunes では曲を「売れません」。コンテンツホルダーが販売を拒否している、という見方もできますが、別の見かたをすれば、国内コンテンツホルダーの理屈 (= 国内スタンダード) が Apple には通じないので iTunes では売れないわけです。

iPhone を国内で販売するということは、gogo-machead さんがおっしゃるように、海外のスタンダード (オンラインでアクティベーションし、iTunes で楽曲をとりこみ、i-mode ではなくフルブラウザが使える) を受け入れる、ということになるわけですが、そんなことがほんとうにできるのか。

一方、iPhone の国内導入を拒絶したとしても、海外ではすでにルールが変わったので、どこのメーカーも iPhone に匹敵する製品を作りはじめるでしょうから、「なぜあの便利な携帯が国内では使えないんだ」というユーザの声はこの先 1 年もすれば非常に強くなってくるだろうと思います。その時に、国内メーカーは自力で iPhone 同等品を作れるのか。

どちらにころんでも日本の携帯の未来は苦難の道が待っていると思います。

[2007 年 7 月 6 日]